

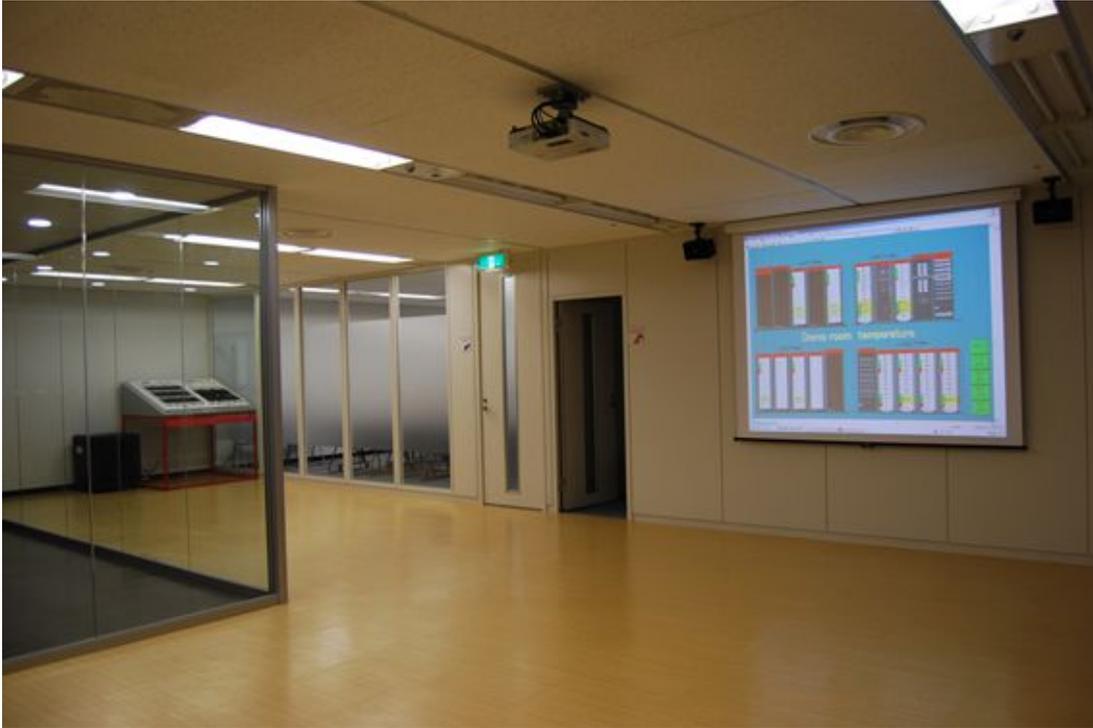
**APC ジャパン株式会社様の芝大門ショールームで SNMPc が採用されました。**  
**(2007年5月)**

【APC ジャパン セールスエンジニアリング部  
セールスエンジニア 鈴木充様のコメント】

私たち APC ジャパンは今年 2007 年 5 月にこれまで本社あった五反田から、ここ芝大門に移転しました。

移転を機会に UPS を初めとする私たちの製品を、お客様により分かりやすくご覧いただくためにショールームを開設しました。





ショールームにはサーバラックを複数台設置し、「**Environmental Management System**」という製品を展示しています。

この製品はシステムの使用環境をネットワーク接続されたセンサ類で監視・管理し、異常があった場合には管理者に通知します。

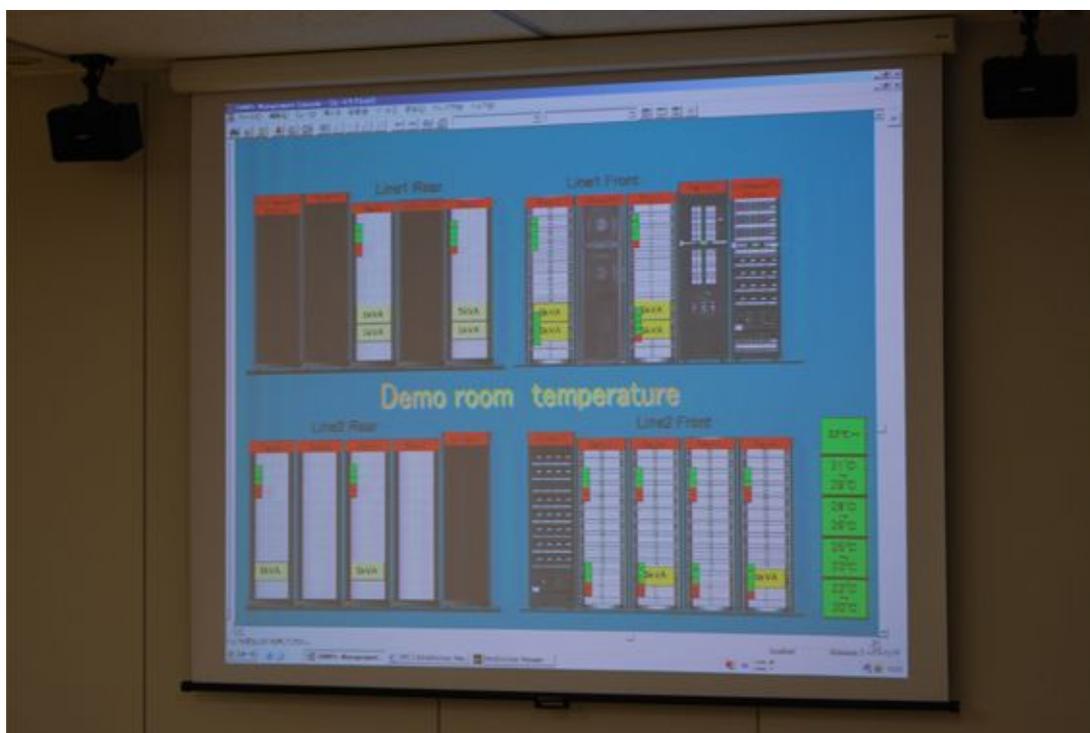
このシステムには 8 つのプロープがつながっており、各プロープはそれぞれサーバラックのドアや背面に取り付けられ、温度、湿度、振動、ドアの開閉、煙、漏水、人の接近を検知できます。



ショールーム開設にあたっての懸念は、「どのような手段でお客様に分かりやすく、センサーが有効に作動しているかをアピールするか？」でした。

ロジックベインの **SNMPc** をショールームに使用したきっかけも、まさに私たちのこの要求を満たしていたからです。

具体的には、サーバラックの温度を①20-22℃、②23-25℃、③26-28℃、④29-31℃、⑤32℃以上、の5段階に分けました。そしてセンサーが温度変化を検知すると **SNMPc** にトラップを上げます。**SNMPc** はデバイスからあがったトラップを基に画面のアイコンの色を緑から赤に変化させることで、現在のサーバラックの温度を表示します。



これによって、サーバラック毎の現在の温度が的確に把握できるようになりました。お客様にも「サーバラックの温度変化が一目で分かる」と好評です。

将来は UPS の電流値・電圧値も管理しているところを展示したいと考えています。  
また、「Rack-Mount PDU」も SNMPc で監視して、リモートから電流値や電圧値を画面で表示したり、個々のアウトレット（電源コンセント）を遠隔から ON/OFF することもお客様に見ていただこうと考えています。

さらに、ルータがハングアップしたら SNMPc に検知させて、そのルータの電源が接続されている Rack-Mount PDU に対して SNMPc から Set コマンドを投げて、自動でリブートさせて復旧するところもお目にかけていたいですね。

APC ではデバイスに多種多様の MIB を搭載しているので、この MIB を SNMPc を使って有効活用することで、お客様に魅力的な提案がいろいろできると思います。

SNMPc は画面のカスタマイズが簡単な上、デバイスの状態をリアルタイムで表示できる点と SNMP 搭載機器を統合管理できる点が魅力です。しかも低価格なのでお客様に受け入れていただきやすい製品だと思います。